

パーキンソン病におけるダンス活動

PDダンスカフェ in 桜美林

参加者
募集!

仲間と出会いたい方、新しいことに挑戦し続けていたい方のために・・・

『PD ダンスカフェ』では車いすや椅子に座ったまま出来るダンスの紹介やパーキンソン病のレクチャー、カフェタイムでの交流・相談会を通して、パーキンソン病との付き合い方や悩み、疑問、情報等が共有できるひとときを提供しています。

2025年10月19日(日)13:30~16:30 ごろまで (開場 13:00)

会場 桜美林芸術文化ホール内ストーンズホール (東京都町田市本町田 2600-4)

対象 パーキンソン病をお持ちの方、そのご家族や支援者など、パーキンソン病と共に暮らす方々、パーキンソン病や PD ダンスについて学びたい方

定員 40名程度 参加費 お一人様 500円 (当日現金支払い)



パーキンソン病と共に暮らす、すべてのみなさまへ

会場アクセス

桜美林芸術文化ホール (東京都町田市本町田 2600-4)

町田駅「町田バスセンター」乗車のご案内



◆町田駅 (JR 横浜線・小田急小田原線) 下車

◆神奈川中央交通バス (4番・5番バスのりば) にて

◆「山崎団地行」または「山崎団地センター行」で約 20 分

バス停「山崎団地センター」から桜美林芸術文化ホールまでのご案内



◆「山崎団地センター」下車

◆「山崎団地センター」バス停より徒歩 5 分

駐車場をご利用の方はお問い合わせください。

主催: 文化庁・一般社団法人パラカダンス 共催: 学校法人桜美林学園

協力: 長谷川一子教授、Dance for PD Japan～パーカクダンス®

文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan



PDダンス
Dance for PD Japan



ここではみんながダンサーです。

PDダンス®とは？

車いすや椅子に座ったまま出来るダンスで、PDには「パーカークダンス」と「パーキンソン病」2つの意味があります。アメリカで始まった「Dance for PD®」の活動をもとに、日本では2019年～福岡にて文化庁の委託事業として展開し全国に広がりをみせています。PDダンスは五感や想像力を働かせながら振り付けと自由表現を組み合わせて踊ることで、脳内神経が活性化され心もほぐれる効果があります。今回は福岡からPDダンス®の指導者をお迎えし皆さんと一緒に踊ります。

はじめての方でも無理なく安心してご参加いただけますのでぜひ一度ご体験ください。

スケジュール

13:00～	受付開始
13:30～13:35	ごあいさつ・事業の説明
13:35～14:05	レクチャータイム（長谷川）
14:05～14:10	休憩・準備
14:10～15:10	PDダンスタイム（マニシア）
15:10～15:20	休憩・移動
15:20～16:30	交流・相談タイム（長谷川・山本）



◀ 映像リンク
ダンスカフェの様子をご覧いただけます。

※カフェタイムでは当事者のグループとご家族を含む介護者のグループが2つのお部屋に分かれて、それぞれお話しできる場を設けます。

※交流・相談タイムにはパーキンソン病専門の医師と看護師が立ち合います。

お申込み方法

以下の必要事項をメール・FAX・お電話にてお知らせください。

① 参加者の人数と氏名

例) 福岡花子(当事者)・福岡太郎(夫)の2名で参加します。

② 参加者の年齢(年代)

③ 顔出しの可不可 (SNSや文化庁の報告書用に写真を使用する場合があります)

④ 歩行に不安のある方はお知らせください。(車いすや歩行器使用の有無等)

⑤ 事前に相談したいことがある方はお知らせください。(当日、その場でもご相談いただけます)

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人パラカダンス 担当: 真崎

メール: info@pddance.jp 携帯: 090-8666-0917 FAX: 092-831-8950

レクチャー講師・カフェタイム立ち合い／長谷川一子



1977年 北里大学医学部卒業
1986年 北里大学医学部講師（神経内科学）
2001年 国立病院機構相模原病院神経内科医長
2013年 神経難病研究室室長

対外活動

- ・日本神経学会パーキンソン病診療ガイドライン作成医員、評価委員
- ・日本神経学会遺伝子診断ガイドライン作成委員
- ・日本神経学会認知症ガイドライン協力委員
- ・日本神経学会ジストニア治療ガイドライン副委員長
- ・PSP,CBS 診療ガイドライン作成医員
- ・ハンチントン病診療ガイドライン委員長

PDダンスファシリテーター／マニシア



ニューヨークにて長期間活動後、福岡を拠点に国内外で多世代かつ多様な方々とコミュニティダンスを展開。ダンス・ムーブメント・セラピストとしても生きづらさを抱えている人々や支援者を対象とした活動を意欲的に取り組んでいる。マークモーリス・ダンスグループでDance for PD®の指導者育成講座を修了し、2016年より福岡でPDダンス®を始める。2019年より「PDハウス」でも実施。さらに昨年日本人で初めてのDance for PD®の認定講師となり、ダンスファシリテーター養成講座にて後進の育成にも取り組んでいる。



◀ PDダンス HP

看護師・カフェタイム立ち合い／山本澄子



1994年国立指宿病院付属看護学校卒業。同年より福岡大学病院に入職し、2002年から脳神経看護を経験。2017年からパーキンソン病のデバイス補助療法に携わり、2019年World Parkinson Congress(WPC)にケアパートナーラウンジ日本人スタッフとして参加する。難病看護師、パーキンソン病療養指導士として施設内のパーキンソン病の看護や様々な職種との連携調整を行うとともに、PDダンスでは当事者だけでなく、ご家族（ケアパートナー）の方々への支援に取り組んでいる。



◀ PDダンス FBページ



◀ YouTube